

# ウエスタン・グローバル 債券ファンド（SMA専用）

旧名称：LM・ウエスタン・グローバル債券ファンド（SMA専用）  
追加型投信／海外／債券

## 交付運用報告書

第4期(決算日2022年10月11日)

作成対象期間(2021年10月12日～2022年10月11日)

第4期末(2022年10月11日)	
基準価額	12,004円
純資産総額	366百万円
第4期	
騰落率	△0.4%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は四捨五入して表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、フランクリン・templton・ジャパン株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
ホームページの「ファンド情報・基準価額一覧」等から当ファンドを選択することにより、運用報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ウエスタン・グローバル債券ファンド(SMA専用)」は、2022年10月11日に第4期の決算を行いました。

当ファンドは、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## フランクリン・templton・ジャパン株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

フランクリン・templton・ジャパン株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。

### お問い合わせ先

TEL 03-5219-5947

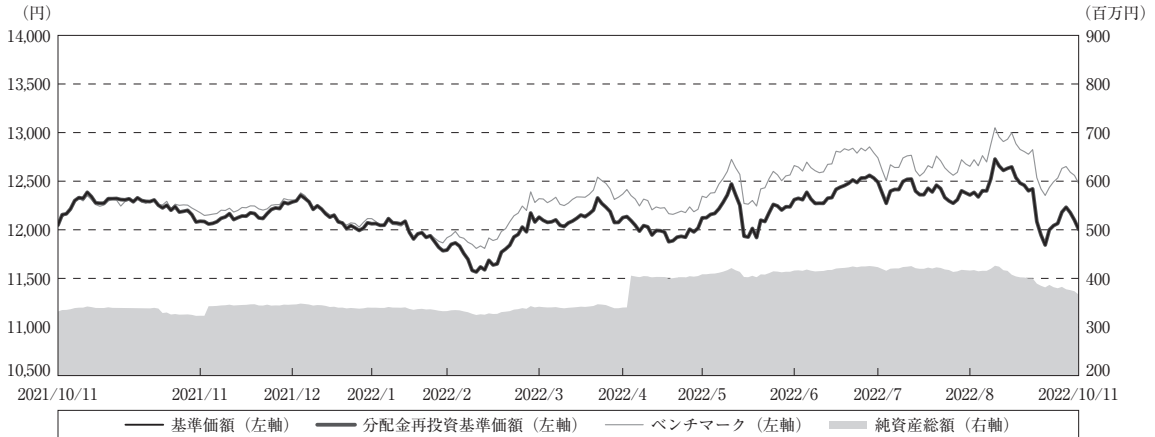
(営業日の9:00~17:00)

<https://www.franklintempleton.co.jp>

## 運用経過

## 期中の基準価額等の推移

（2021年10月12日～2022年10月11日）



期 首：12,048円

期 末：12,004円（既払分配金(税込み)：0円）

騰落率：△ 0.4%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首（2021年10月11日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) ベンチマークは、ブルームバーグ・グローバル総合（日本円除く）インデックス（円換算ベース）です。

## ○基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）は若干のマイナスとなりました。

公社債利金を手堅く確保しましたが、公社債損益がマイナスとなりました。為替損益については、プラスとなりました。

## 1万口当たりの費用明細

（2021年10月12日～2022年10月11日）

項 目	当 期		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 56	% 0.462	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率
（投信会社）	(36)	(0.297)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(16)	(0.132)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(4)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.013	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数
（先物・オプション）	(2)	(0.013)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用	9	0.071	(c) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（保管費用）	(3)	(0.021)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷等費用）	(5)	(0.042)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用
合 計	67	0.546	
期中の平均基準価額は、12,177円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

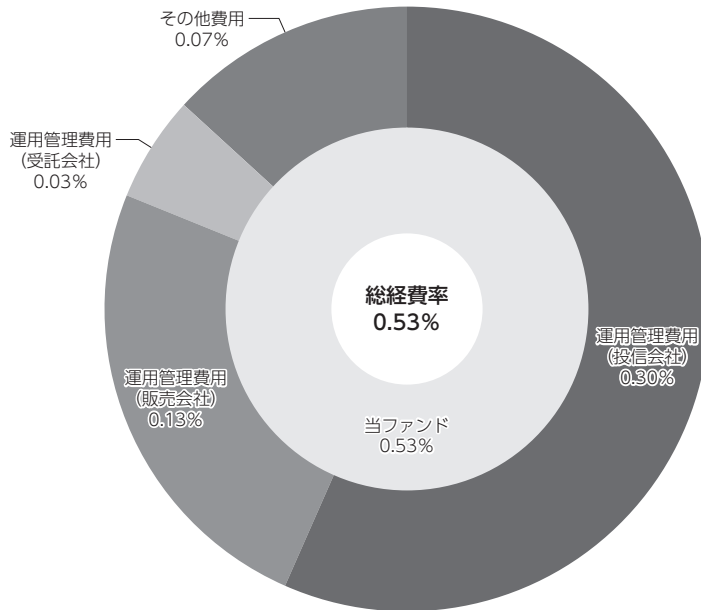
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

**（参考情報）****○総経費率**

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.53%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

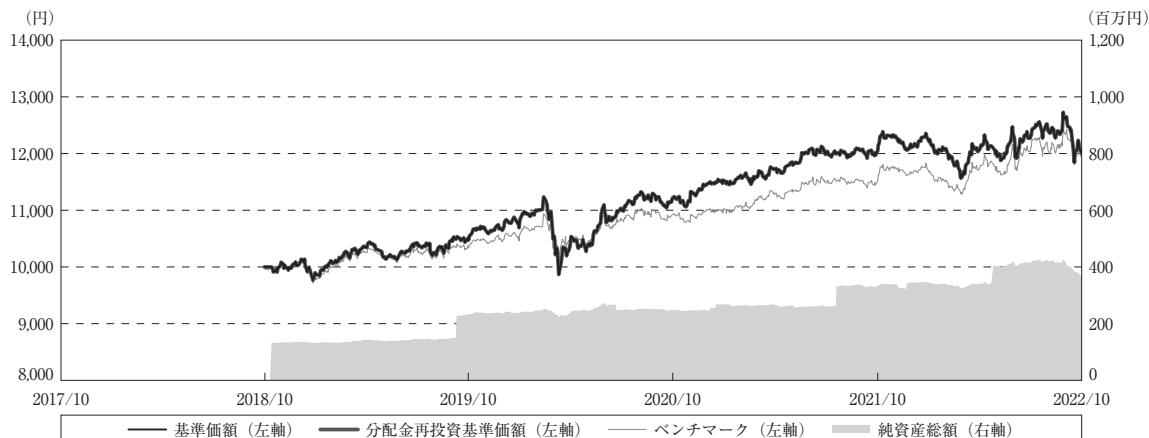
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

（2017年10月10日～2022年10月11日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) ベンチマークは、設定時の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 当ファンドの設定日は2018年10月10日です。

	2018年10月10日 設定日	2019年10月9日 決算日	2020年10月9日 決算日	2021年10月11日 決算日	2022年10月11日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,471	11,217	12,048	12,004
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	4.7	7.1	7.4	△ 0.4
ベンチマーク騰落率 (%)	—	3.4	5.7	5.4	3.6
純資産総額 (百万円)	1	231	248	331	366

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。  
ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2019年10月9日の騰落率は設定当初との比較です。
- (注) ベンチマークは、ブルームバーグ・グローバル総合（日本円除く）インデックス（円換算ベース）です。

## 投資環境

(2021年10月12日～2022年10月11日)

当期の米国債券市場は、利回りが上昇（価格は下落）しました。

期の前半は、新型コロナウイルスの新たな変異株が見つかり、投資家のリスク回避姿勢が強まる場面で利回りは低下（価格は上昇）しましたが、米連邦準備制度理事会（FRB）による金融政策の正常化が予想以上に早く進むとの見方が広がる中、次第に上昇しました。

期の半ばは、米国がロシアからの石油や天然ガスの輸入を禁止すると発表したことを受けて原油価格が急騰し、インフレ圧力が増すとの警戒感が強まったことや、FRBがインフレ抑制のために金融引き締めを積極的に進めるとの見方が広がったことなどから、利回りは上昇しました。

期の後半は、景気悪化でFRBが利上げペースを緩めるとの見方が広がったことから、利回りは低下しました。しかしその後は、FRB議長が経済シンポジウム「ジャクソンホール会議」で利上げを継続する姿勢を改めて示したことなどから、利回りは上昇しました。その後もFRBが利上げを決定するとともに、大幅な利上げを続ける方針を示したことから、利回りの上昇が加速しました。

米国10年国債の利回り推移



当期の欧州債券市場は、利回りが上昇しました。

期の前半は、新型コロナウイルスの新たな変異株が確認され、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、利回りは低下しました。その後は、欧州での天然ガス価格の上昇を背景としたインフレ長期化観測が広がり、米国での金融引き締めの加速も意識されたことなどから、利回りは上昇しました。

期の半ばは、ロシアによるウクライナ侵攻を受けてリスク回避姿勢が強まったことから、利回りは低下しました。その後は、原油価格の上昇を受けてインフレへの警戒感が高まったことに加え、ウクライナとロシアとの停戦交渉が進展するとの期待が高まり、リスク回避姿勢の緩和が意識されたことなどから、利回りは上昇しました。

期の後半は、欧州中央銀行（ECB）の金融政策正常化による欧州景気の減速懸念が意識されたことから、利回りは低下しました。その後は、ロシアからのエネルギー供給不安を背景に天然ガス価格が上昇し、インフレへの警戒感が高まる中、利回りは上昇しました。その後もECBが利上げを決定し、利上げを継続する見通しを示したことから、利回りの上昇が加速しました。

ドイツ10年債利回りの推移



当期の米ドル・円相場は、米ドル高・円安となりました。

期の前半は、米ドル売り・円買いが優勢となる場面も見られましたが、米国金融政策の正常化観測から米国国債利回りが上昇し、日米金利差が拡大したことから、米ドルは対円で堅調に推移しました。

期の半ばは、米国ではFRBが利上げを決定するとともに、利上げ加速の可能性を示唆した一方で、日本では日銀が大規模な金融緩和政策の維持を決定したことなどから、日米の金融政策の方向性の違いが意識される中、米ドル高・円安が強まりました。その後は、FRBによる急速な金融引き締めに対する警戒感から米国株式相場が軟調となる中、米ドル売り・円買いが優勢となりました。

期の後半は、日米の金融政策の方向性の違いが引き続き意識される中、米ドルは対円で再び上昇しました。その後は、米国景気の悪化でFRBが利上げペースを緩めるとの見方が広がったことから、米ドルは対円で一時軟調となりましたが、米国国債利回りが上昇し、日米金利差が拡大したことから、再び上昇しました。

米ドル／円相場の推移



当期のユーロ・円相場は、ユーロ高・円安となりました。

期の前半は、新型コロナウイルスの新たな変異株が確認され、リスク回避姿勢が強まったことなどから、ユーロ売り・円買いが優勢となりました。その後は、ユーロ買い・円売りが優勢となる場面も見られましたが、FRBによる金融引き締めの前倒し観測が根強い中、ユーロは米ドルで下落し、対円でも軟調に推移しました。

期の半ばは、ロシアによるウクライナ侵攻を受けて欧州経済への影響が懸念されたことから、ユーロは下落しました。その後は、ウクライナとロシアの停戦交渉に対する進展期待が高まり、リスク回避姿勢が和らいだことや、ECBと日銀との金融政策の方向性の違いが意識されたことなどから、ユーロ買い・円売りが強まりました。

期の後半は、ECBによる積極的な利上げが欧州の景気を冷やすとの懸念が広がり、ユーロ売り・円買いが優勢となりました。その後は、やや値動きの荒い展開となったものの、ECBが利上げを継続すると見方が根強い中、ユーロ買い・円売りが優勢となりました。

ユーロ／円相場の推移



## 当ファンドのポートフォリオ

（2021年10月12日～2022年10月11日）

当ファンドは、主に「ウエスタン・グローバル債券マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主に日本を除く世界の公社債に実質的に投資を行うことにより、信託財産の中長期的成長を目指してまいりました。

当期は、米ドル建て、ユーロ建ての国債、社債等を中心とした組み入れを継続しました。ポートフォリオのデュレーションについては、市場の状況を睨みながら機動的に調整しました。通貨については、景気判断に基づく戦略を立て、機動的なポジション調整を行いました。

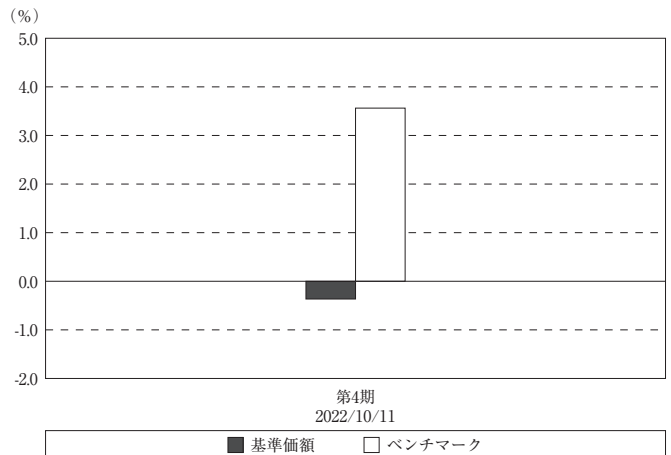
## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2021年10月12日～2022年10月11日）

当期の当ファンドのパフォーマンスは、ベンチマークを下回りました。

2022年2月に、一部の新興国債券および通貨をオーバーウェイトとしたことなどがマイナスに影響しました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

（注）ベンチマークは、ブルームバーグ・グローバル総合（日本円除く）インデックス（円換算ベース）です。



**分配金**

（2021年10月12日～2022年10月11日）

分配金につきましては、基準価額動向や保有債券の利子収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

## ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第4期
	2021年10月12日～ 2022年10月11日
当期分配金	－
（対基準価額比率）	－%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	2,004

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

**今後の運用方針**

当ファンドは日本を除く世界の公社債を主要投資対象とし、ベンチマークを上回る収益を目指して運用を行います。今後も、市場環境を注視しながら、投資魅力度の高い銘柄を厳選し、ポートフォリオの構築を行う方針です。

## お知らせ

## ＜主な約款変更に関するお知らせ＞

当ファンドならびにマザーファンドのファンド名称変更に伴う所要の約款変更を行いました。

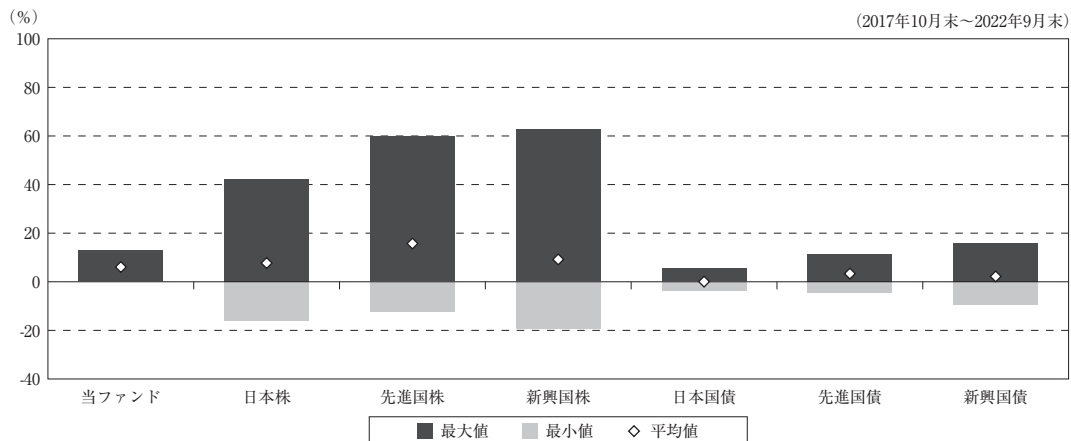
（変更日：2022年7月12日）

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2018年10月10日～2028年10月10日	
運用方針	主に日本を除く世界の公社債に実質的に投資を行うことにより、信託財産の中長期的成長を目指します。	
主要投資対象	当ファンド	「ウエスタン・グローバル債券マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	ウエスタン・グローバル債券マザーファンド	主に日本を除く世界の公社債を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	ウエスタン・グローバル債券マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持します。 株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	ウエスタン・グローバル債券マザーファンド	外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	決算時（毎年10月9日、休業日の場合は翌営業日）に、基準価額水準等を勘案して収益の分配を行います。	

## （参考情報）

### ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	13.2	42.1	59.8	62.7	5.4	11.4	15.7
最小値	△ 0.1	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 3.7	△ 4.5	△ 9.4
平均値	6.1	7.7	15.7	9.2	0.1	3.4	2.2

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2017年10月から2022年9月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは、2019年10月以降の年間騰落率を用いています。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

### (※) 各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI 国債

先進国債…FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## ○当ファンドのベンチマークについて

ブルームバーグ・グローバル総合（日本円除く）インデックス（円換算ベース）は、ブルームバーグ・グローバル総合（日本円除く）インデックスを委託会社が独自に円換算したものです。「Bloomberg<sup>®</sup>」およびブルームバーグ・グローバル総合（日本円除く）インデックスは、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者である Bloomberg Index Services Limited（以下「BISL」）をはじめとする関連会社（以下、総称して「ブルームバーグ」）のサービスマークであり、フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社による特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグはフランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社とは提携しておらず、また、ウエスタン・グローバル債券ファンド（SMA専用）を承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、ウエスタン・グローバル債券ファンド（SMA専用）に関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。

## ○代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

## 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

## MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

## MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

## NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

## FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

## JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド（円ベース）

JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2022年10月11日現在)

## ○組入上位ファンド

銘柄名	第4期末
ウエスタン・グローバル債券マザーファンド	100.3%
組入銘柄数	1銘柄

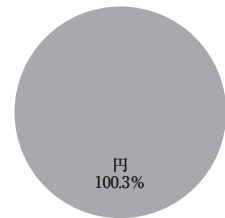
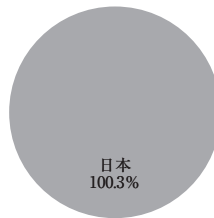
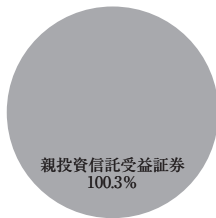
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

## ○資産別配分

## ○国別配分

## ○通貨別配分



(注) 比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

## 純資産等

項目	第4期末
	2022年10月11日
純資産総額	366,685,899円
受益権総口数	305,465,508口
1万口当たり基準価額	12,004円

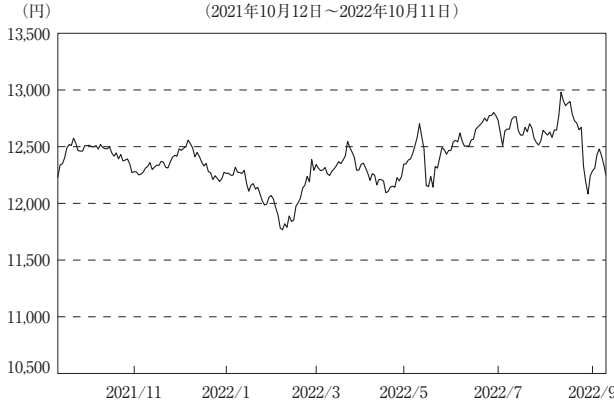
\* 期中における追加設定元本額は86,503,690円、同解約元本額は56,569,014円です。

## 組入上位ファンドの概要

## ウエスタン・グローバル債券マザーファンド

## 【基準価額の推移】

(2021年10月12日～2022年10月11日)



## 【1万口当たりの費用明細】

(2021年10月12日～2022年10月11日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	2 (2)	0.013 (0.013)
(b) その他費用 (保管費用) (印刷等費用)	3 (3) (0)	0.021 (0.021) (0.000)
合計	5	0.034

期中の平均基準価額は、12,394円です。

(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○現物資産上位10銘柄

(2022年10月11日現在)

	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	US TREASURY NOTE 0.375% 2026/1/31	国債証券	米ドル	アメリカ	8.0
2	WA CHINA BOND FUND L.L.C.	投資証券	米ドル	アメリカ	4.8
3	US TREASURY NOTE 0.375% 2025/12/31	国債証券	米ドル	アメリカ	3.2
4	US TREASURY NOTE 0.75% 2026/4/30	国債証券	米ドル	アメリカ	3.2
5	MEXICAN BONOS DESARR FLX 7.75% 2042/11/13	国債証券	メキシコペソ	メキシコ	2.3
6	CHINA GOVERNMENT BOND 4% 2035/11/30	国債証券	中国元	中国	1.7
7	AGRICUL DEV BANK CHINA 3.4% 2024/11/6	普通社債券	中国元	中国	1.6
8	SOUTH AFRICA GOVT 6.5% 2041/2/28	国債証券	南アフリカランド	南アフリカ	1.5
9	US TREASURY NOTE 0.25% 2025/6/30	国債証券	米ドル	アメリカ	1.4
10	POLAND GOVT 1.75% 2032/4/25	国債証券	ポーランドズロチ	ポーランド	1.1
組入銘柄数			353銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

## ○スワップ及び先渡取引残高

(2022年10月11日現在)

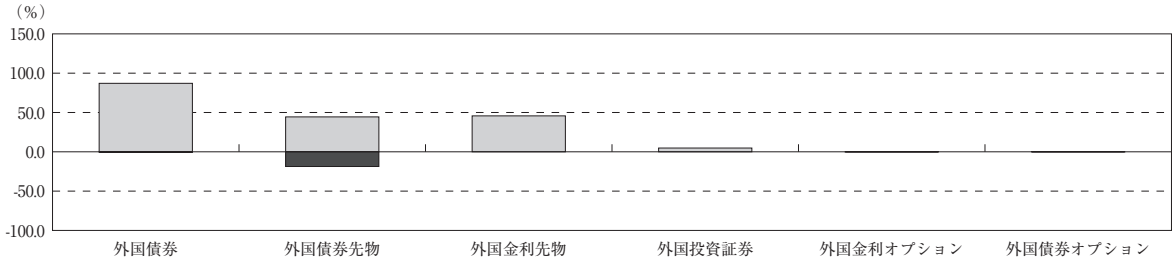
種類	取引契約残高
	当期末想定元本額
直物為替先渡取引	百万円 3,463

## ○派生商品上位10銘柄

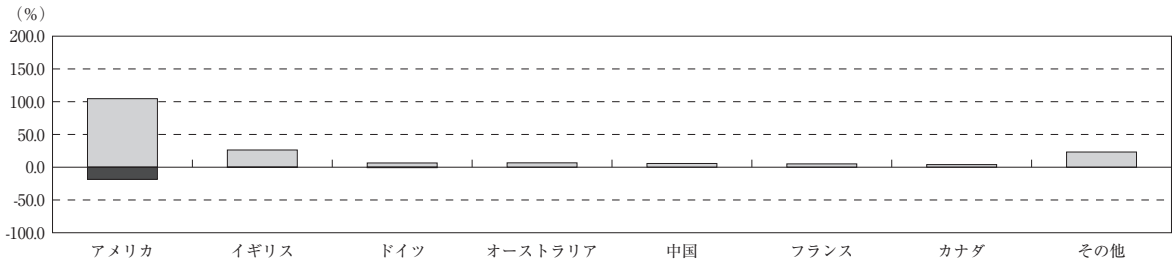
(2022年10月11日現在)

	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	米国国債(10年)2022.12限月	債券先物(売建)	米ドル	アメリカ	16.1
2	90日ユーロドル2022.12限月	金利先物(買建)	米ドル	アメリカ	15.8
3	90日ユーロドル2023.12限月	金利先物(買建)	米ドル	アメリカ	15.1
4	SONIA先物3ヶ月	金利先物(買建)	イギリスポンド	イギリス	14.8
5	米国国債(5年)2022.12限月	債券先物(買建)	米ドル	アメリカ	9.7
6	米国国債(2年)2022.12限月	債券先物(買建)	米ドル	アメリカ	9.1
7	オーストラリア国債(3年)2022.12限月	債券先物(買建)	オーストラリアドル	オーストラリア	5.7
8	英国国債(10年)2022.12限月	債券先物(買建)	イギリスポンド	イギリス	4.7
9	ドイツ国債(5年)2022.12限月	債券先物(買建)	ユーロ	ドイツ	4.3
10	米国国債(10年)2022.12限月	債券先物(買建)	米ドル	アメリカ	2.9
組入銘柄数			23銘柄		

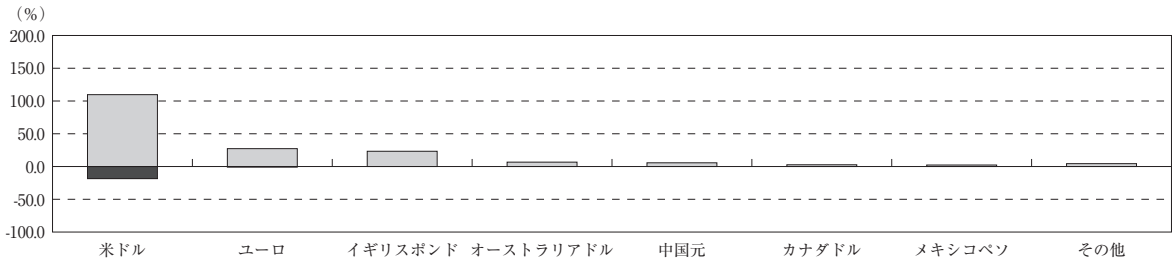
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 上記グラフについて、買建はプラス、売建はマイナスで表示しております。

(注) 比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。